

日本心エコー図学会教育委員会
地方における小規模講習会に関する報告

2014年7月1日

教育委員会では、若手医師への心エコー図学の普及・啓蒙に努めるため、大都市圏以外での小規模講習会を行っており、第1回目の福島県でのハンズオンセミナーを参考に、三重県で第2回目のセミナーを催したので報告する。

1) 概要は以下の通り。

セミナー名：三重大学病院臨床研修・キャリア支援センター PRESENTS 東海若手医師キャリア支援セミナー「スペシャリストから学ぶ心エコー図法！」

主催：三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援センター

共催：日本心エコー図学会

後援：MMC卒後臨床研修センター・東海若手医師キャリア支援プログラム

企画：日本心エコー図学会 教育委員会

事務担当：臨床研修・キャリア支援センター

日時：平成26年5月24日（土曜日） 9:30～16:00

場所：三重大学医学部附属病院

対象：三重県内を中心とした東海地区の初期研修医（後期研修医も可）

参加者定員：定員35名に対し、37名の申込みがあり、当日参加37名（初期研修医 1年目 19名、2年目13名）

内容：初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン（シミュレーターも含む）

超音波装置：通常装置7台、シミュレーター1台

2) 予算

本セミナーは三重大学医学部附属病院臨床研修・キャリア支援センターから支出されており、全額三重大学医学部附属病院の負担である。参加者からの参加費徴収はない。講師に対しては三重大学職員以外の講師に対して、県の規定に沿った講師料、交通・宿泊費が支払われた。

支出	会場費	なし（三重大学医学部附属病院内のスキルズラボを使用
	会場備品	17,098円
	交通費（宿泊費含む）	39,020円（三重大学職員以外）
	謝金	250,000円（三重大学職員以外）
	合計	306,118円

3) プログラム（抄録集参照）

3セッションにわけ、午前中は基本的な内容として、20分程度の講義とそれに引き続きハンズオンを行った。午後の2セッションは、より臨床的な内容とし、講義の後、救急外来での使用やStructural Heart Diseaseの更なる理解を期待し、シミュレーターを使用してハンズオンを行った。最後の講義では心エコー図学の魅力を伝えるべく、今後の心エコー図学の発展性について話をした。

開会の挨拶 櫻井洋至（三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援センター）

日本心エコー図学会教育委員長挨拶 瀬尾由広（筑波大学 循環器内科）

セッション1（9:40～12:10）心エコー図法の基本を識る

講義20分 心エコー図の基本断面の成り立ち 演者 別當勝紀（伊勢赤十字病院 臨床検査課）

実習30分 基本断面の描出と計測

講義20分 ドプラ法の基本 演者 杉本邦彦（藤田保健衛生大学病院 臨床検査部 超音波センター）

実習30分 カラー描出、血流速度計測法

講義20分 血流・組織ドプラ法を用いて血行動態を評価する 演者 杉本匡史（伊勢赤十字病院 循環器内科）

実習30分 ドプラ指標の描出と評価

休憩1時間

セッション2（13:10～14:35）

臨床現場で心エコー図法を使う

講義20分 壁運動異常をよむ 演者 小谷敦志（近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部）

講義20分 心不全診療に応用する 演者 杉浦英美喜（三重大学 循環器内科）

講義20分 救急外来での使いこなし方 演者 土肥薫（三重大学 循環器内科）

実習25分 シミュレーターによる救急患者の評価 解説 土肥薫（三重大学 循環器内科）

手技指導 杉浦英美喜（三重大学 循環器内科）

休憩10分

セッション3（14:45～15:50）

心エコー図法を使いこなす

講義20分 弁膜症評価の基本と感染性心内膜炎の評価法 演者 田辺正樹（三重大学 医療安全・感染管理部）

講義20分 Structural Heart Diseaseと心エコー図法 演者 瀬尾由広（筑波大学 循環器内科）

実習25分 シミュレーターによるStructural Heart Diseaseの評価 解説 土肥薫（三重大学 循環器内科）

手技指導 杉浦英美喜（三重大学 循環器内科）

閉会の辞

櫻井洋至（三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援センター）

4) 指導者について

合計10名で指導を行った。内訳は教育委員会から3名、東海地区の専門技師2名、三重県内の循環器専門医3名、三重県内の超音波検査士2名であった。ハンズオンは7グループで、1グループあたり参加者5名に対して、指導者1名の体制とした。

5) 参加者からのアンケート結果について（詳細は別紙参照）

参加者は初期研修医（1年次：2年次 =3：2）で、心エコー図の経験がない、あるいはほとんどない医師が7割を占めたが、講義の内容およびハンズオンの内容は「ちょうど良い」という回答が70%程度を占めた。一方で「難しい」や「とても難しい」という回答も約30%程度あった。

ハンズオンの時間（1人あたり5分×3回）は、ちょうど良いという回答が最も多かったが、「短い」という回答が40%もあり、「もう少し実技の時間を割いてほしい」という要望も実際にあったため、今後の改善点と考えられた。

セミナー全体の満足度は「良かった、とても良かった」が93%、今後同様のセミナーに参加したいかという問いに対して「参加したい、是非参加したい」が86%であり、非常に好評であった。

6) 指導者からの感想

参加者がとても熱心であった。

講師の指導もよかった。

シミュレーターの活用は有効と考えられた。

今後も全国いろいろな地域や病院でこのような勉強会、セミナーが開催できるとよい。

7) まとめ

若手医師に心エコー図学に興味を持たせるため、三重県で第2回目のセミナーを催した。地域の既存組織（三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援センター）と連携をとることにより、円滑な運営が可能であった。セミナーの内容としては、初期研修医のレベルにちょうど良い講義内容であった。ハンズオンは一日を通してどんどん上達していったことを参加者・指導者ともに実感したが、実技時間が短めであったと反省点が残る。初の試みであるシミュレーターの活用も有効であった。若手医師に心エコー図学へ興味を持たせ、臨床レベルのアップを図ることに少なからず貢献できたと考えられた。各地域での円滑な開催のためには、地域の組織との連携が必要と感じる。

（文責：三重大学 循環器内科 土肥 薫）

三重大学病院臨床研修・キャリア支援センター PRESENTS
東海若手医師キャリア支援セミナー
「スペシャリストから学ぶ心エコー図法！」

主催：三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援センター

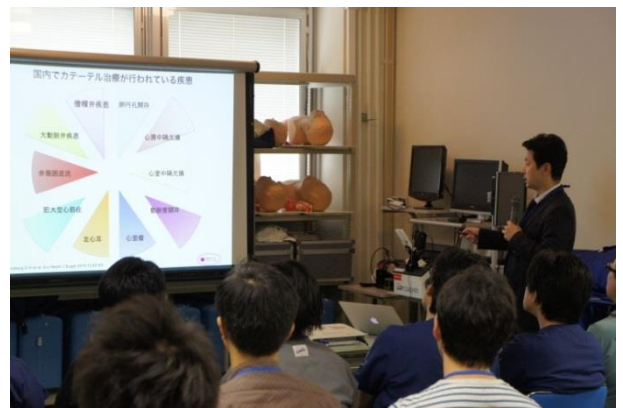
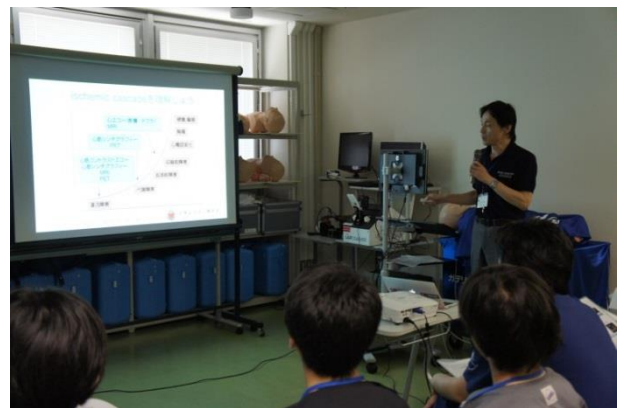
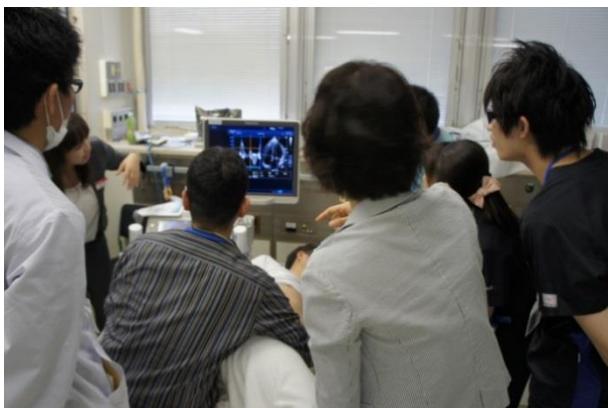
共催：日本心エコー図学会

後援：MMC卒後臨床研修センター・東海若手医師キャリア支援プログラム

日時：平成26年5月24日（土曜日） 9:30～16:00

場所：三重大学医学部附属病院 スキルズラボ







写真掲載にあたっては参加者の承諾を得ております